

小さい者の一人が減びることは天にいますあなたがたの父のみ心ではない。

つ の ぶ え

TSUNOBUE

2022年9月1日

第441号



社会福祉法人
小羊学園

住 所 〒433-8105

静岡県浜松市北区三方原町2709-12

電 話 053-584-3337 FAX 053-585-8488

E-mail sasaeru@kohitsuji.or.jp

H.P http://www.kohitsuji.or.jp/

発行人 稲松 義人

印刷所 アド・アール株式会社



今号のMENU

1 P...

理事長巻頭言

2 P-4 P...

特集 重度障がい者
の人権を考える

5 P...

施設紹介

〔ひまわり〕

おすすめスポット

〔日本平動物園〕

6 P...

マルカート・
ドルチェ竣工式

リレートーク

新職員募集案内

支える会報告 他



子どもの心に寄り添い、その弱さに向き合えるように…放課後等デイサービスの一コマ

安倍元首相を銃撃し逮捕された容疑者の証言から、今、話題になっている旧統一教会は、元々は「世界基督教統一神霊協会」という団体でした。「基督教（キリスト教）」という文字が入っているのに、キリスト教の一派のように捉える人が多いかも知れませんが、キリスト教界では「異端」とされており、全く別物です。

もし、共通点があるとすれば、「救い」を求める人にアプローチしようとするところかも知れません。社会福祉の仕事も様々な問題を抱え、そこから抜け出すための支援を必要とする人たちが対象です。私たちの周りには身体的には健康で、経済的にも特に困っていないけれども、どこか満たされないものを抱えている人は、決して少なくないのではないのでしょうか。その意味では、自覚はしていませんが、その「弱み」をもっていらっしゃる方たちです。その「弱み」に付け込み、支配しようとするところに人権侵害の芽があるような気がします。

本来の支援は、当事者が「弱さ」を受け入れ、そこから自分自身で立ち上がり、歩み出すためになされるものです。他者の「弱さ」に向き合う支援者こそが、そのことを肝に銘じなければならないと思っています。

稲松義人

法人座談会 津久井やまゆり園事件から6年

〜重度障がい児者の人権を考える〜

稲松理事長×山倉施設長×出水施設長×雨宮センター長

平成28年7月26日に日本を震撼させた津久井やまゆり園事件。重度心身障がい者を無差別的に殺傷した事件は多くの課題を突き付けられました。6年が経過した今、法人のコアメンバーに重度障がい児者の人権擁護について語ってもらいます。

＊座談者紹介

【稲松義人】 法人理事長

【山倉慎二】 つばさ静岡施設長

【出水厳生】 三方原スクエア施設長

【雨宮 寛】 基幹相談支援センター長

＊進行

【古橋 誠】 支援センターわかぎ施設長



【進行…古橋】

今日は7月25日ですが毎年7月末になると津久井やまゆり園の凄惨な事件を思い起します。同じ重度知的障がい児者を支える立場として本当に胸が痛くなります。あの事件について、どのようにお感じになりましたか。

【稲松】

事件が起こった年、小羊学園は創立50周年で、春に記念式を開催しました。その記念礼拝で、元日本基督教団遠州教会の小林真牧師は「50年経った今、一匹の羊は小羊学園の支援を受けて生活をしている重い障がいのある人たちではなく、社会の中で孤立し周囲から理解されず小羊学園の支援を必要としている人たちは他にいないのではないか」という内容の話をしてくださいました。小羊学園の歩みを長く見てこられた先生の鋭い問いかけだと感じました。

私は、事件について聞いたときに、

罪を犯した本人の抱える闇に、社会福祉はどのように向き合えるのだろうかと感じたことを思い出します。



稲松理事長

【山倉】

私が重症心身障がいの方と接していて感じることは、彼らが非常に穏やかで純真で、まさに平和を象徴するような方々であるということだと思います。人と争うことなく、静かに平穏に暮らしているだけの彼らの生活を、卑怯で卑劣な暴力で一方的に脅かすような行為が許されるわけがありません。どんなに重い障がいをもっていたとしても、一人の人として生まれた限りは、その人生を謳歌する権利があります。周りから見ても、どれほど生きることが困難に見えても、生きている本人が人生を楽しんでいることができれば、そこに生きている意味があります。人の幸せは周りの人がとやかく言うものではないのです。

【出水】

重度の知的障がいを持った方たちの存在を否定し、その命を自らの手で奪った主観と行為に対して、大きなショックを受けました。小羊学園は重い障がいがあるが故に多くの困難が伴う利用者に対する支援を使命としてきましたが、様々な利用者と共に生活し関わる中で一人ひとりの特別な個性を受け入れ、それを多くの方々と共感し合うことに楽しみや意義を見出す喜びがあったと思います。離れた地域での事件でしたが、この事件の内容を聞いた時は同じ障がい者支援に携わる立場として、また日々関わる利用者やご家族の想いを想像した時、決して他人事ではない複雑で悲しい想いに胸が痛みました。



座談会はWEBで行いました。

【古橋】

私も同様に感じました。では、雨宮さんは様々な相談者から相談を受ける立場ですね。あの事件を機にご家族やご本人から不安の声などは出てきていますか。

【雨宮】

加害者が事件を起こす前に精神科病院に入院をしていたという報道もあり、特に地域で暮らす精神障がいのある人たちへの当時の地域の反応は、とても厳しかったように思います。

精神障がいのある人（実際に診断されているか分かりませんが）が事件を起こしたということから精神障がいのある人は危険だという声が強くなります。決して精神障がいだからではないという声がある一方で、身近に精神障がいのある人が暮らししている近隣住民の人たちからは「事件もあったし大丈夫か」と不安の声が多く聞かれたように思います。

【古橋】

津久井やまゆり園の事件以降、小羊学園として、また各施設で利用者の人権擁護や防犯対策として講じたことなどあれば聞かせてください。

【稲松】

以前つのぶえで、静岡県知的障害者福祉協会の会長をしておられた八谷重之氏が、他県の施設で起きた虐待事件に触れて「性弱説」という話をされたことを紹介したことがあります。「性善説、性悪説」ではなく、人間は本来弱い存在なのだということとです。人は弱いがゆえに「強いこと」「力をもつこと」に執着します。そして弱い人たちを蔑み、侮り、排斥しようとしめます。相模原での事件のようなセンセーショナルな例でなくとも、私たちの周囲には、人間関係に関するトラブルは絶えません。我慢できなくなると、相手を非難し、否定することで、自分を正当化します。あるいは、正当化できないときには自己嫌悪に陥ります。そんなとき、自分の弱さをどうすれば受け止



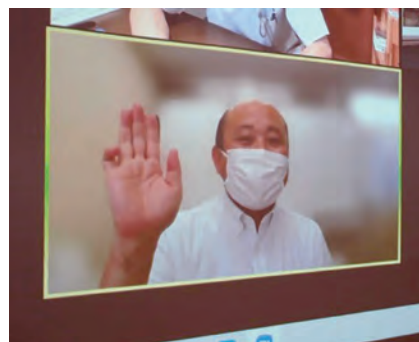
山倉施設長

めることができるのか。そして、同じように他者の弱さも受けとめることができるのか。そのことを考えてみるのが大切なのではないかと思います。私は、キリスト教の精神というのは、そのことを伝えているのではないかと思います。

【山倉】

今年度から障害福祉サービス事業所では、虐待防止委員会の設置が義務付けられました。つばさ静岡でもこの委員会が設置され、毎月、虐待防止や身体拘束についての話し合いが持たれ、全職員への研修を行いました。

また、今年度は施設の目標として「美意識を高める」ことを掲げました。職員一人一人が美意識を磨くことにより、仕事をする上で、それが美しいかどうかを判断の基準として行動してもらうことを願うのが目標です。さらに職員自身の日常生活の上でも、美意識を高めることが私生活の充実にもつながることになると考えています。そしてそういう美意識に基づく言動がしっかりと根付いていけば、人権蹂躪や虐待という美しくない行動がなくなっていくのではないかと思います。



雨宮センター長

【雨宮】

先日、浜松市で行った虐待防止の研修の中で、相談支援事業は相談者の権利擁護に資するゲートキーパーの役割を担っており、相談員は権利擁護の視点を常に持ちつつ相談支援を行うことが大切と話されていました。

支援の入り口で関わりを持つ相談員は、虐待を始めとする権利侵害を小さな芽のうちに発見し必要な支援につなげて行くことが求められます。また、協同で支援する地域の関係機関とも権利擁護の視点を基本とした支援のあり方を共有し広げていくことが必要であり、そうしたことも相談員の役割だと感じています。

【出水】

スクエアは2008年に小規模ユニット化をベースに改築しました

が、分散した環境や重度の方や行動障がいを伴う方々の安全を守るための様々な構造や設備は、外部からの防犯的な効果もあります。事件後は敷地内に防犯カメラも設置しましたが、利用者の様々な安全確認のために活用することもあります。

研修に関して、全体で継続して実施しているのは職員間のコミュニケーションをテーマとした内容です。利用者支援を中心として、それを支援する職員同士がいかに協力できるか、課題解決に対して同じ認識を持った上で向き合えるか、具体的な計画を立てながら年間を通して実践と評価を行い、チーム力を深められるように努めています。

【古橋】

ありがとうございます。わかぎでも防犯カメラの設置や、地元浜北警察署に協力いただき不審者対応の実地訓練などをしました。重度障がい者、特に知的や精神に障がいを持たれた方は、社会の中で誤解を受けやすいものです。こうした人たちの人権を守ることは言うまでもありません。インクルーシブ・ダイバーシティなどが謳われ、共生・多様性のある社会づくりをどう具体的に推

し進めていけば良いか最後に聞かせてください。

【稲松】

「人権」というと、個人個人の権利のことだと受け止められるのだと思います。確かに、人はパーソナルな存在で、それぞれ主体性をもって生きるべき存在なのだと思います。しかし一方で、他の生物と同様に一人では生きていけない存在です。

聖書は伝えます。すべてのものは神がお造りになった。造られたものはすべてよかった。しかし、人は良かれと思って、それとは別の生き方を選択した。環境のことを考え、他者のことを受けとめ、すべての人を大切にしつつ生きること。おそらく人はいつの時代もそれを求めつつ生きてきだのではないかと思っています。

【山倉】

人はそれぞれに考えがあり、すべてにおいて同じ考えを持つことなどはあり得ません。そこで大切なことは、多くの人と語り合うことだと思っています。自分の意見に固執せず、さまざまな立場の人と話し合い、相手の意見に耳を傾けながら、決して一

人で物事を決めてしまわないことが大切ではないでしょうか。

【雨宮】

権利を擁護する役割としての相談支援の話をしました。一方で同じ障害福祉に携わる者の権利侵害が後を絶たないことも事実です。支援する側される側の縦の関係が変わらなければ無くならないのかもしれない。違いを認め合いお互いを尊重する対等な横の関係を築くことが必要なのだと思います。身近なところから始めてはどうでしょうか。

【出水】



出水施設長

社会づくりに向けて、直接利用者に関わる私たちがしっかりと意義を見出し発信しなければなりません。最近私が意識しているのは、創立者山浦氏が仰っていた「小羊学園の働きは平和運動」です。利用者への支

援を通して職員も一致する。一人ひとりの違いを認め、理解し支え合う。そのような実践が地域や社会に広がり繋がりを望みます。

【古橋】

どんな障がいがあるともひとりの尊い生命として輝き続けられるように私たちは寄り添い続けていきたいと思っています。多忙の中、重度障がい者の人権擁護について貴重なお話を聞かせてもらいありがとうございます。

津久井やまゆり園事件

2016年7月26日未明、相模原市緑区の神奈川県立障害者施設「津久井やまゆり園」に男が侵入し、刃物で入所者19人を殺害、職員2人を含む26人に重軽傷を負わせた。施設職員だった植松聖容疑者が逮捕され、殺人罪などで起訴された。被告は神奈川新聞の取材に「(重度障害者が)不幸の元である確信を持つことができた」「意思疎通が取れない人間は安楽死させるべきだ」などと障がい者に対する差別的な言動を繰り返し、犯行を正当化してきた。植松被告人は横浜地裁一審判決後、弁護人による控訴を取り下げ、死刑が確定している。

私たちのこともっと伝えたい! 今回は ひまわり の魅力を伝えます

サンストリート浜北から都田地区へ向かう丘陵地の途中にある、グループホーム。ひまわり(6人)・カトレア(7人)の2ホームがあります。法人最高齢の83歳の方から25歳の方まで、自分らしく生活できるよう支援しています。

施設らしさを排除して、我が家と思ってもらえるような生活を目指しています!



ひまわり
2004年スタート

スタッフがワンちゃんを連れて遊びに来てくれてみんな大喜び⇒



⇨法人最高齢の83歳お誕生日をお祝しました



カトレア
2012年スタート



「行ってきます!」「だだいま!」の音が玄関に響きます。平日は個々の好きなことができる施設に通っています。休日は、のんびりと自分の好きなことを楽しんでいます。みんなでレクリエーションしたり、お出掛けしたりと余暇を満喫しています。

小羊学園のお勧め!

障がいのある人にやさしい外出スポット

Vol.5

日本平動物園 (NIHONDAIRA ZOO)

【その1】 入園料620円※障害者(療養)手帳所持者は、手帳(原本)提示で本人及び介助者1名無料。駐車料金:普通車520円

【その2】 猛獣館299・レッサーパンダ館・ペンギン館など。開園から54年目を迎えますが、平成25年にリニューアルオープンし、より間近で動物が見られるようになりました。雨天時でも館内に入れば、ライオン・ジャガー・ホッキョクグマ・ゴマフアザラシなど多くの動物を見る事が出来ます。お昼時も密を避け、お弁当などを持参し、屋外の芝生広場などで食べるのもおすすめ。四季を通して1年中楽しめますよ!

【基本情報】

静岡市駿河区池田1767番地の6 電話054-262-3251

開園時間 9:00~16:30 (入園16:00まで)

休園日 毎週月(祝、振替休日の時は翌平日) 12/29~1/1



KOHITSUJI STAFF



リレートーク

Vol.21

おがわ としえ
小川 壽江さん

2006年入職
支援センターわかぎ
事務係長

Q小羊学園を

志した動機は？

栄養士として前任の
栄養士さんからお声
掛けいただいたのが
きっかけでした。


Qこの仕事の嬉しいことは？

事務仕事を通じて、利用者・職員に喜んでもら
えると実感したときかなあ

Qちょっとプライベートを教えてください！

11歳の娘と全力で遊ぶことが何よりの楽しみ
です。最近のはやりはジャベリックボールか
な。あとは毎日の晩酌！

Q誰にリレーしましょうか？ また一言メッセージを！

三方原スクエアの白尾さんにバトンタッチします。
今は難しいけどコロナが落ち着いたらゆっくり
とお酒を酌み交わしたいですね。その時を楽し
みに待ってま〜す！

2023年度 新規採用職員
募集のご案内

社会福祉法人小羊学園では20
23年4月採用の職員を募集して
います。

障がい福祉に興味のある方、福祉
の道を考えている学生の方、お気
軽にお問い合わせください。詳し
くは法人HPをご確認下さい。

○問合せ 法人本部 担当…池谷

☎053-584-3337

法人HP募集要項

QRコード


マルカート・ドルチェ
新施設竣工式&内覧会

6月18日（土）今春、南区新橋町に移転
改築した生活介護「マルカート」放課後等デ
イサービス「ドルチェ」の竣工式と内覧会を
行いました。

竣工式には、ご厚意で土地の無償提供して
くださった藤田様、建築に携わった設計業者
様、施工業者様、法人関係者が集い、遠州教
会石井佑二牧師司式による記念礼拝と感謝状
授与式が行われました。

その後、内覧会が行われ利用者家族や関係
機関職員などが新しい建物を見学されまし
た。


小羊学園を支える会

2022年度 寄付金報告

6月～7月分 1,509,496円（40件）

累計 1,975,796円（61件）

多くのお支えに感謝申し上げます

小羊学園への寄付金振込み先

郵便振替口座 00800-8-107785

口座名義 社会福祉法人小羊学園

ゆうちょ銀行 〇八九店 当座預金0107785

口座名義 社会福祉法人小羊学園

ご希望があれば、郵便振替用紙をお送りいたします。
下記へご連絡ください。

小羊学園を支える会事務局（鈴木）

小羊学園法人本部 ☎053-584-3337

あ
と
が
き

連日オミクロン株BA.5が猛威を
振るい感染者が爆発的増加してい
る。法人内の関係者や施設でも陽性
者が確認され対応に追われている。
日常を奪われ緊急時対応になると、
心のゆとりが失われ殺伐とした雰囲
気になりがち。こうした時、「愛を
もって互いに仕えなさい」わかぎ定
礎盤に刻まれたこの聖句が心に染み
わたり救われる。残暑厳しい折です。
皆様どうぞお身体ご自愛ください。

（F）